

「持続可能なまちづくり in 飛騨」

～ 第1部「困りごと」は 変化のちから ～

報告

JA愛知東「地域ささえ愛」組織 宅食サービス・家事支援サービス

令和4年7月30日

JA愛知東 総合企画部 組合員課

課長 小山幸浩

JA愛知東の概況



JA愛知東は、愛知県の北東部に位置し、
新城市・設楽町・東栄町・豊根村を
管内とし、北は長野県、東は静岡県に接する
愛知県の5分の1という広大な面積を占める
中山間地域です。



JA愛知東の概況

JA愛知東管内の農畜産物については、地域の特性を生かしながら、稲作、畜産を主体として、いちご・柿・うめ・トマト・お茶等の栽培をしています。

JAの管内農畜産物MAP 管内農畜産物マップ

位置及び地勢

当JAは愛知県の北東部に位置し、新城市・南設楽郡（鳳来町・作手村）及び北設楽郡（設楽町・東栄町・津具村・豊根村・富山村）を管内として、北は長野県、東は静岡県に接する愛知県面積の5分の1を占める中山間地域です。

赤石・木曾山系に連なる山地に囲まれ、河川は、天竜川・豊川・矢作川水系の分水嶺をなしています。

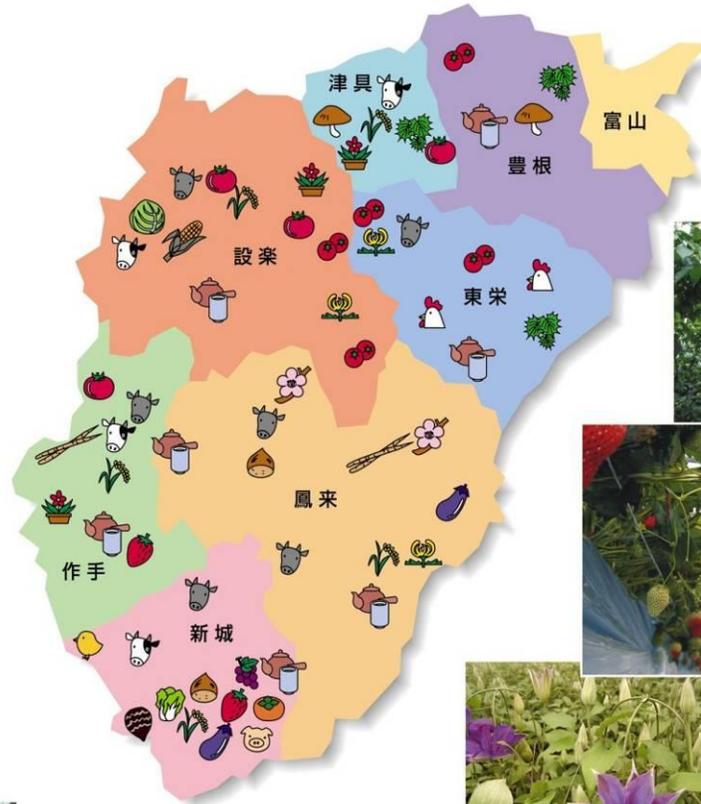
気候

気象条件は夏冬の温度差が大きく、年平均気温は新城市15.1度・南設楽郡13.8度・北設楽郡11.9度で日温較差が大きい。年間降水量は2,000mm～2,400mmで県下でも多雨地帯で、冬期には南・北設楽郡の一部において積雪があり、東三河一帯の水源かん養地域です。

農業

中山間地域の不利な生産条件の中で、地域の特性や工夫を生かしながら、稲作・畜産（繁殖和牛）を主体として、果樹（柿、巨峰、うめ）、野菜（トマト）、茶、花卉等の栽培がされており、中でも茶（煎茶）・うめの生産は県下で1位となっています。

また、地域農畜産物を利用した加工や農畜産物の直売所などの取り組みも進められ、都市との交流を通じた地域活性化が図られています。



JA愛知東の概況

①組合員数（令和4年3月末基準）

- ・ 正組合員 7,592人 准組合員 6,982人
組合員計 14,574人

②役職員数（令和4年3月末基準）

- ・ 理事・監事合計 31名（うち女性理事 3名女性監事 1名）
- ・ 職員・臨時職員 計 384名（うち臨時職員 94名）

③事業の概要（令和4年3月末基準）

- ・ 販売品販売高 48億5659万円
- ・ 貯金残高 1801億7355万2千円
- ・ 貸出金残高 245億4742万1千円
- ・ 長期共済保有高 3771億1676万5千円
- ・ 購買品供給高 46億1852万4千円
- ・ 出資金残高 9億2449万8千円

J A 愛知東の概況

J A 愛知東管内の高齢化率

○高齢化率 (令和3年3月末基準)

新城市	36.8%	(人口 44,151人)
設楽町	50.5%	(人口 4,583人)
東栄町	50.1%	(人口 2,990人)
豊根村	50.2%	(人口 1,047人)

○愛知東管内の65歳以上のひとり暮らしが1300世帯あります。

(訪問日で調査)

65歳以上のひとり暮らし世帯にどのような支援ができるかが課題。

高齢者支援について

高齢者支援・生活支援を基本とした健康で安心して暮らせる支援に関する検討会で、JA厚生連 佐治理事長、新城市 穂積市長、足助病院 早川名誉院長、小林院長から高齢者支援に関するアドバイスを頂き、現状を把握するため、高齢者にアンケート調査を実施することとしました。

高齢者支援に関するアンケートは、2020年2月に正・准組合員900名対象にアンケート調査実施。

正・准組合員637名から回答を頂きアンケートを基に検討。

アンケートの中で、**すごく気になる回答がありました。**

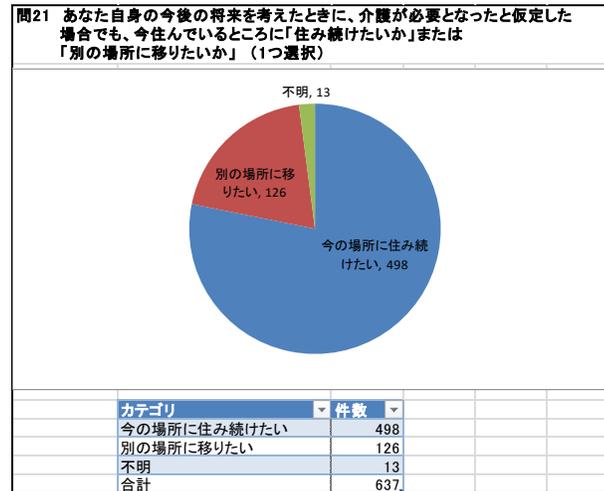
高齢者支援について

アンケート資料から抜粋

問21 今の場所（家）に住み続けたい希望が498件と78%を占めています。

【家に住み続けたい約8割を占めている】

（下の図参照）



アンケート結果を基に、JA愛知東助け合い組織の荻野会長・伊藤会長に相談、幅広い組合員・地域住民のニーズにこたえる為、住み慣れた地域で元気で安心して暮らせる高齢者支援の取組みとして在宅でのケアこそ多くの組合員・地域住民の願いを叶えるものと考えました。

高齢者支援について

アンケート結果を基に

①宅食サービス・②家事支援サービス・③地域のサロン・④宅食による見守りの4つの柱として、女性部・助け合い組織・組合員・地域住民とともに、行政・社協・生協・厚生連・足助病院と連携を図り地域に貢献する組織活動として進めて行きたいと考えました。

2021年6月にプロジェクト委員会を立ち上げ女性組織のメンバー6名に委嘱し検討。

- ・先進JAにお弁当づくり視察（JAあいち三河）
- ・行政や社協と話し合い
- ・高齢者支援サポーター養成講座の検討
- ・足助病院と連携し管理栄養士監修したレシピを基に足助病院とJA本店の調理室をオンライン（web）でつなぎ調理実習
実際に調理するスタッフに来て頂き5回実施

プロジェクト委員会は2022年3月で終了（9回開催）

高齢者の在宅ケア支援

JA愛知東

【愛知東】JA愛知東は、高齢者支援を目的としたプロジェクト委員会を立ち上げた。家事援助、配食サービス、サロンの開催「見守り」の四つを柱に設定。今後、住み慣れた地域で安心して暮らしてもらうためのJA独自の支援策を模索していく。

プロジェクト設立

管内の設楽町、東栄町、豊根村の高齢化率はいずれも50%以上。本店がある新城市は35%を超え、高齢者が健康で安心して暮らせる地域づくりが大きな課題となっている。

これまで、JAに介護施設の建設を希望す

る声もあったが、アドバースを求めた関係機関からは、人材確保が難しいことや居宅介護施設や老人ホームはすでに充足しているなどの意見を受けた。

そこで、2020年2月に正・准組合員900人にアンケートを



委嘱状を受け取る女性組織代表者（愛知県新城市で）

実施したところ、「今の地域に住み続けたら」と願う組合員が約8割を占めた。結果を受け、在宅で受けられるサービスこそ、多くの

の住民に伝えることができるかと考え、新たな骨子案を作成した。プロジェクト設立では、新城市の本店にミニデイサービスや給食作りなどをすすめるJA女性部組織の各代表6人とJA役員6人が参集。海野文貴組合長は「助け合い、協同の精神で、多くの高齢者に手を差し伸べることができればとあいさつ。各地域のニーズに応える活動展開を呼び掛け、委嘱状を手渡した。サービスは、管内を四つに分けて行う。元気なシルバー世代やJAのOB・OGを活動メンバーの主体に、サービスが行き届いていないエリアで、ニーズに合わせた活動を展開していく方針だ。

高齢者支援について

このサービスは、JA愛知東「地域ささえ愛」組織とし、自分たちの地域は自分たちで支え合っていこうと男性・女性関係なく「ささえあいの精神」のもとに日常生活を支援することを目的に新城地区・鳳来地区・作手地区・北設地区の4つの拠点で活動していくことにしました。



宅食サービス

拠点の名称

やなマルシェ

つくしんぼうの会

どりいむ(委託)

やまなみ工房

「地域ささえ愛」組織

→ 新城市《旧新城》まる愛

→ 新城市《旧鳳来》つくしんぼうの会

→ 新城市《旧作手》どりいむ(委託)

→ 設楽町・東栄町・豊根村《北設》やまびこの会

高齢者支援について

実際活動するにあたり拠点ごとに口コミで声掛けをして高齢者支援サポーターを募集し、宅食サービス・家事支援サービス・地域サロン・宅食による見守りの組織活動の趣旨を理解して頂くために「高齢者支援サポーター養成講座」を新城市社協・東栄町社協に協力を頂き2月・3月にかけて4回実施しました。

参加者は89名うち男性12名・女性77名で開催しました。

「地域ささえ愛」組織
サポーター人数 合計89名

拠点の人数

- 《旧新城》まる愛 35名
- 《旧鳳来》つくしんぼうの会 23名
- 《旧作手》つくで 7名
- 《北設》やまびこの会 24名



現在JAでは、通所 合い組織によるミニ講座の運営や助け イサービスなどを行う

【愛知東】JA愛知東が今年4月からの家事支援サービス開始に向けて動きだした。JAが認めた組合員を「高齢者支援サポーター」とし、65歳以上の一人暮らしまたは夫婦世帯からの依頼を受け、掃除、洗濯、買い物など日常生活の困り事を手助けするサービス。JAは、新城市と設楽町のJA本支店でサポーター養成講座を開催。参加した組合員が認知症や衛生管理の基礎知識、生活支援活動で役立つコミュニケーション技術について理解を深めた。

河内地域では高齢化や過疎化が加速。高齢者支援活動の拡充は大きな課題とされる。住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らし続けられるよう、JAでは新たに「地域ささえ愛」組織を発足。家事だけでなく、草刈りや庭の手入れ、柵の修繕といった簡単な日曜大工など、得意分野を登録する「高齢者支援サポーター」制度を設け、性別や年齢を問わず、性別や年齢を問わず、模擬演技も交えて対話の方法などが紹介された養成講座（愛知県新城市で）

高齢者支援サポーター

日常の困り事手助け 組合員対象に養成講座

JA愛知東

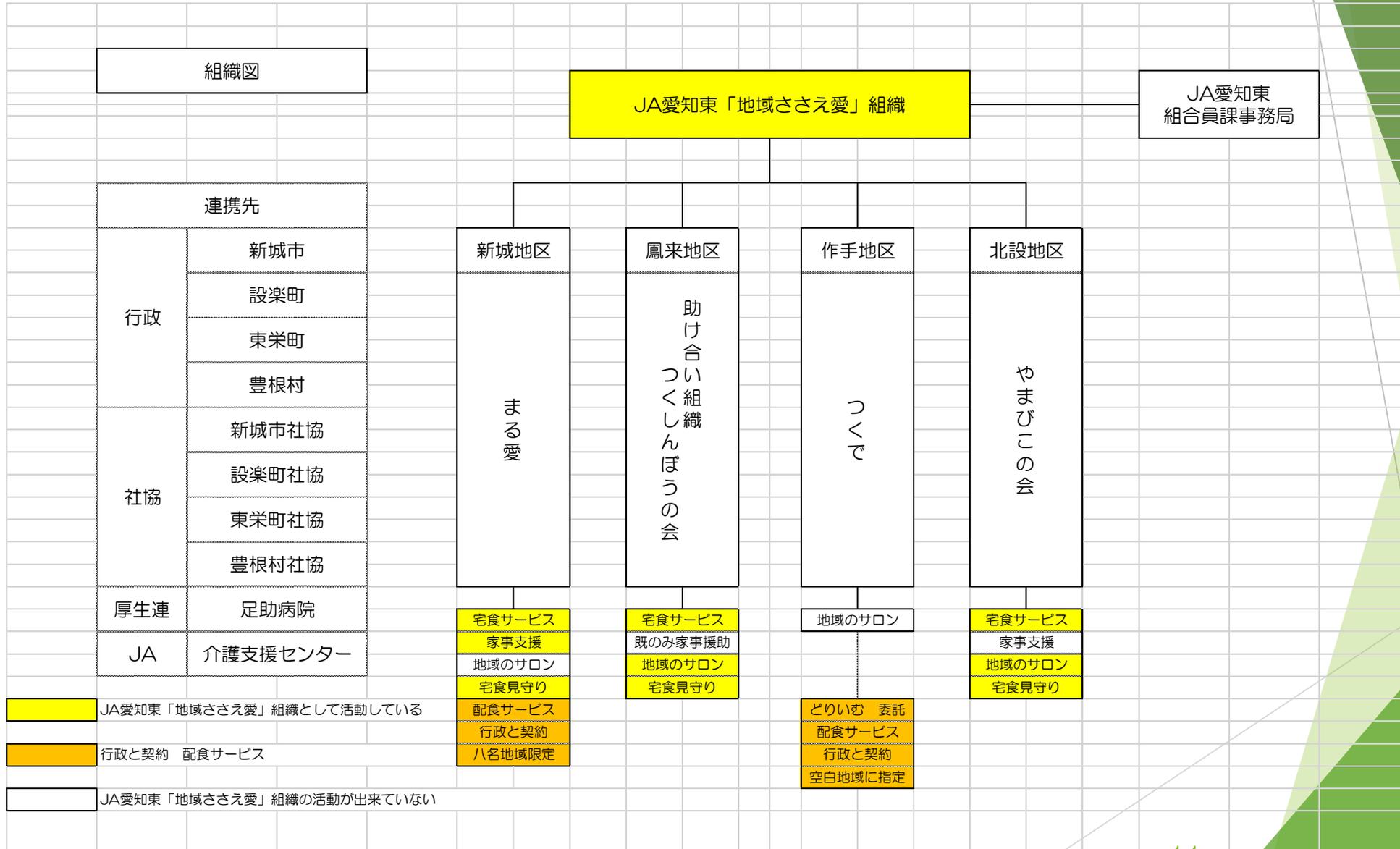
【愛知東】JA愛知東が今年4月からの家事支援サービス開始に向けて動きだした。JAが認めた組合員を「高齢者支援サポーター」とし、65歳以上の一人暮らしまたは夫婦世帯からの依頼を受け、掃除、洗濯、買い物など日常生活の困り事を手助けするサービス。JAは、新城市と設楽町のJA本支店でサポーター養成講座を開催。参加した組合員が認知症や衛生管理の基礎知識、生活支援活動で役立つコミュニケーション技術について理解を深めた。

河内地域では高齢化や過疎化が加速。高齢者支援活動の拡充は大きな課題とされる。住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らし続けられるよう、JAでは新たに「地域ささえ愛」組織を発足。家事だけでなく、草刈りや庭の手入れ、柵の修繕といった簡単な日曜大工など、得意分野を登録する「高齢者支援サポーター」制度を設け、性別や年齢を問わず、性別や年齢を問わず、模擬演技も交えて対話の方法などが紹介された養成講座（愛知県新城市で）

【愛知東】JA愛知東が今年4月からの家事支援サービス開始に向けて動きだした。JAが認めた組合員を「高齢者支援サポーター」とし、65歳以上の一人暮らしまたは夫婦世帯からの依頼を受け、掃除、洗濯、買い物など日常生活の困り事を手助けするサービス。JAは、新城市と設楽町のJA本支店でサポーター養成講座を開催。参加した組合員が認知症や衛生管理の基礎知識、生活支援活動で役立つコミュニケーション技術について理解を深めた。

河内地域では高齢化や過疎化が加速。高齢者支援活動の拡充は大きな課題とされる。住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らし続けられるよう、JAでは新たに「地域ささえ愛」組織を発足。家事だけでなく、草刈りや庭の手入れ、柵の修繕といった簡単な日曜大工など、得意分野を登録する「高齢者支援サポーター」制度を設け、性別や年齢を問わず、性別や年齢を問わず、模擬演技も交えて対話の方法などが紹介された養成講座（愛知県新城市で）

高齢者支援について



JA愛知東「地域ささえ愛」組織 発足式

発足式 令和4年4月12日(火)

発足式を開催することでサポーターのやる気意識を高めました。

高齢者支援サポーター 50名参加

常勤役員5名・来賓として中央会理事長・農林中央金庫・愛知信連



東日新聞 令和4年4月13日掲載



東愛知新聞 令和4年4月14日掲載



中日新聞 令和4年4月16日掲載



日本農業新聞 令和4年4月19日掲載

JA宅食サービスについて

JA宅食サービスと配食サービス（行政）の比較

弁当の名称	愛ちゃん弁当	配食弁当	備考
サービス	JA宅食サービス	配食サービス（行政）	
契約	拠点の代表と事務局の2名で訪問	行政訪問	JAの宅食サービスは組合員及びその家族
利用者負担と行政助成	利用者負担500円	行政200円（助成） 利用者負担300円	500円相当のお弁当
宅食日（営業日）	拠点ごと宅食日が異なります まる愛（水・土） つくしんぼうの会（火・金） どりいむ（委託）（月・水・金） やまびこの会（火・木）	地元の仕出し屋等 週3回または週4回	JAの宅食サービスでは、 チケット制、 事前に10枚のチケットを購入して頂きます（現金又は口座振替）
お弁当のレシピ	JA厚生連足助病院で管理栄養士が 監修したレシピにてお弁当作り レシピは25日分作成済み	仕出し屋等にお任せ	
見守り等の助成	見守り・安否確認200円 宅食調理200円	見守り・安否確認100円	JAの宅食サービスでは一部の 地域で空白地域があり配達できない地域があります

令和4年4月～ JA宅食サービス スタート

利用者からの声

配食サービスは、お弁当の中身が同じものが多く飽きてしまう。配食サービスの利用者から依頼があり、現在では、JA宅食サービスを利用、お弁当の内容が日替わりで美味しいと言って頂き、その利用者が他の利用者を紹介して頂いています。

JA愛知東「地域ささえ愛」組織

令和4年
4月から
スタートします

JA宅食サービス 愛ちゃん弁当のご案内

JA宅食サービス
お弁当をご自宅までお届け



管理栄養士の監修で地元野菜など使用し、
栄養バランスはもちろん、
季節感や彩にも考慮した美味しくて飽きない
お弁当をこころがけてお作りします。

- 宅食日は、地域によって異なります
- 1食 500円
(10枚綴りの宅食チケットを現金又は口座振替にて購入して頂きます)
- 配達エリア：JA愛知東管内（新城市・設楽町・東栄町・豊根村）
- 対象者：65歳以上のひとり暮らしの方又は65歳以上の夫婦世帯
- 安否確認を兼ね、お声かけ手渡し配達させていただきます



JA宅食サービスに関するお問合せは…

JA愛知東「地域ささえ愛」組織
事務局（組合員課） TEL 0536-22-4135
受付時間 月～金 午前9時～午後5時まで（土・日・祝日・年末・年始を除く）

JA宅食サービスについて

JAの宅食サービスは、子育て世代のお母さん方にも組織活動に参加しています。（収入を得て、子育て世代のお母さん方の働く場を提供）

- まる愛《旧新城》では、お弁当の調理スタッフとして8名の子育て世代のお母さん方がお弁当作りを始めています。
- やまびこの会《北設》では、お弁当の配達・安否確認に子育て世代のお母さん1名ですが、こどもと一緒に安否確認を兼ねて配達し高齢者宅に訪問しています。
高齢者の方は、お弁当とこどもが一緒に来るのを楽しみにしています。

JA宅食サービスについて

高齢者支援「地域ささえ愛」組織
宅食サービス 問い合わせ件数・契約件数・宅食食数 一覧表

地域	拠点名	問い合わせ件数												累計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
新城	まる愛	13	3	1										17
鳳来	つくしんぼうの会	18	10	5										33
作手	どりいむ(委託)	0	1	0										1
北設	やまびこの会	12	2	3										17
	合計	43	16	9										68

地域	拠点名	契約件数												累計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
新城	まる愛	5	0	0										5
鳳来	つくしんぼうの会	15	13	5										33
作手	どりいむ(委託)	0	0	0										0
北設	やまびこの会	9	3	2										14
	合計	29	16	7										52

地域	拠点名	宅食食数(お弁当の数)												累計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
新城	まる愛	24	25	32										81
鳳来	つくしんぼうの会	57	144	193										394
作手	どりいむ(委託)	0	0	0										0
北設	やまびこの会	14	48	58										120
	合計	95	217	283										595

		宅食目標食数	2,500	6月 現在	595	達成率	23.8
--	--	--------	-------	-------	-----	-----	------

※宅食日 新城(水・土曜日)・鳳来(火・木曜日)・作手(月・水・金曜日)・北設(火・木曜日)

※作手地域については、新城市の配食サービスが空白地域となっている為、現状ではJA宅食サービスを行うことが出来ません。

お弁当の依頼があった場合は、現状では新城市の配食サービスを利用して頂くことになります。

※空白地域とは、配達できない地域のことを言います。

JA家事支援サービスについて

○生活支援のみの日常ちょっとした困りごとへのサービスとしてJA家事支援サービスに取り組むこととしました。内容は、掃除・洗濯・調理・買い物・草刈りなど支援

草刈りの作業ができるサポーターには、4月・7月・8月にキャタピラー教習所にて刈払機の講習会を受講して頂き、19名が刈払機の安全衛生講習修了証を取得しました。

現在、JA宅食サービスが令和4年4月～スタートしたばかりであり、各拠点ごとの状況に合わせてJA家事支援サービスについては、スタートしていく予定です。

拠点のまる愛（旧新城）については、JA家事支援サービスを開始しています。5月の訪問日（JAの広報誌配布時）にてチラシ配布し、5月に1件問い合わせがあり契約を交わし、草刈り作業を行いました。



JA愛知東「地域ささえ愛」組織

JA家事支援サービスのご案内

JA家事支援サービス
日常生活のみの支援

掃除・洗濯
お話し相手
草刈り作業

日常のちょっとした困り事伺います

- 掃除 ●洗濯 ●調理 ●買い物 ●話し相手
- 草刈り作業 ●庭の手入れ作業 ●日曜大工（簡単な棚等の組み立てなど）

対象エリア	JA愛知東管内（地域によっては対応できない場合あり）
対象者	65歳以上のひとり暮らしの方又は65歳以上の夫婦世帯
サービス提供日	①平日 ②土・日・祝日 ③年末・年始・お盆
サービス提供時間	午前9時～午後5時まで
サービス利用料	①平日 1,200円／1時間 ②土・日・祝日 1,500円／1時間 ③年末・年始・お盆 1,800円／1時間 登録料 2,000円（初回のみ） 利用チケットを現金又は口座振替にて購入して頂きます

JA家事支援サービスに関するお問合せは…

JA愛知東「地域ささえ愛」組織
事務局（組合員課） TEL **0536-22-4135**
受付時間 月～金 午前9時～午後5時まで（土・日・祝日・年末・年始を除く）

JA宅食サービス及びJA家事支援サービスについて

まとめ

- 愛知東の管内が広いので、この「地域ささえ愛」組織の活動は男性・女性関係なく「さえあいの精神」もと拠点ごとにニーズにあった組織活動として進めています。
- 主役は、拠点の代表者とサポーターのメンバーであり、各地域をささえ合うのはやはり地域の拠点の代表者とサポーターメンバーです。この組織活動は、口コミにより賛同して頂けるサポーターを増やしながらか組織活動の輪を無理なく広げていってほしいと思います。
- 事務局は、組合員・地域住民の願いを叶えるためのサポート役また、拠点の代表者等と常にコミュニケーションを図り一緒になって少しでも地域の困りごとを解決できればと考えています。
- 最後に、この組織活動を通じて、組合員・地域住民が安心して住み続けられる地域とは、JA事業の基盤でもありと考えています。拠点ごと軌道に乗るまでJAとしてもしっかりとサポートし見守っていききたいと考えています。

開始に向けて同JAは「地域ささえ愛(あい)」組織を設立。弁当の調理や配達、掃除、洗濯、庭の手入れ、簡単な日曜大工など組合員が得意とする分野を登録する「高齢者支援サポーター」制度を設け、社会福祉協議会と連携して養成講座を開いた。

89人がサポーターに登録。3月中旬から利用者の募集を始め、利用者とのJAが面談し地域や要望に応じてサポーターとマッチングしている。「宅食」はレシビをJA愛知厚生連の管理栄養士が監修し、新城、鳳来、作手、北設

【あいち】JAグループ愛知は3月30日、名古屋市中区のJAあいちビルで開いた記者会で、JA愛知東が4月から始める「宅食」と「家事支援」サービスをPRした。このサービスは同JA管内に住む組合員とその家族で、65歳以上の1人暮らし世帯と夫婦世帯を対象に実施する。

弁当宅配と家事 JA愛知東 今月から



加藤さんら「地域ささえ愛」のリーダーら

局を担当する同JA総合企画部組合員課の小山幸浩課長は「当JA

管内の奥三河地域の高齢化率は県平均の25%を大きく上回る一方、当JAが独自に行なったアンケートでは住み慣れた故郷で暮らし続けたいといった在宅支援を望む声が多い」と話

組織のリーダー格である同JA女性部の加藤久美子部長は「組織の活動を機に、この地域に支え合いの意識が芽生えることを期待したい」と述べた。

2022年4月1日(金)
日本農業新聞 ワイド1 東海

高齢者の暮らし支援

ご清聴ありがとうございました。